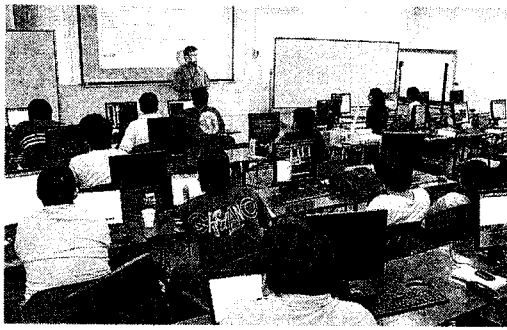


英語を母語としない
人のビジネス英語能力

1位	フィリピン
9位	インド
10位	シンガポール
13位	マレーシア
17位	インドネシア
23位	韓国
34位	中国
43位	タイ
44位	ベトナム
50位	日本

(注)グローバルインゲ
リッシュ社のビジネス
英語指数(2013年版)。
網掛けはASEAN加
盟国

ソフト開発支援のASJ



ビジネス英語やプロジェクト管理など
を学ぶ(フィリピン大の授業風景)

フィリピン短期留学支援

ビジネス英語や就業体験

大学・企業向け

ソフトウェアの開発支援を手掛けるASJ(千
葉市、神田茂社長)はフィリピン大学と組み、
国内の大学や企業向けに短期留学プログラムの
提供を始める。ビジネス英語などを学んだ後、
現地企業での就業体験(インターンシップ)や
ボランティア体験をする。フィリピンは国民の
英語能力が高く、欧米企業の進出が相次ぐ。注
目を集める同国への留学支援を新たな事業の柱
に育てる考えだ。

フィリピン大と組む

留学プログラムはフィ
リピン大が開発した。英
語でのスピーチやeメー
ルの書き方を学ぶコース
や、欧米やアジアなど各
地域の商慣習を学ぶコー
スなど4つのプログラム
を用意。各プログラムの
定員は15人。いずれも大
学教員が直接指導する。
留学期間は1カ月間で
前半の3週間でビジネス
英語などを学ぶ。残り1
週間は現地企業でのイン
ターンシップや小学校で
の教育実習などができ
る。滞在中は学内にある
ホテルに宿泊する。費用

は約28万円(宿泊費と昼
食費を含む)で渡航費や
保険料は除く。

第一弾として敬愛大学
(千葉市)の参加が決ま
った。8月上旬から学生
が現地に滞在する。大学
向けの短期留学プログラ
ムは長期休暇中の春夏に
実施する考えで、「他大
学にも参加を呼びかけて
いる」(神田社長)。9
月以降は企業からの参加
も募る。大学付属の小学
校などで日本の教師が英
語で日本文化を紹介する
プログラムも実施する。

フィリピンは英語を公
用語としており、発音は
米国に近い。人口は1億
人に迫り、毎年50万人が
大学を卒業する。英語に
堪能な人材が多いため、
海外企業から事務処理な
どを請け負うビジネス・
プロセス・アウトソーシ
ング(BPO)の一大拠
点として成長している。
フィリピン大は国立総
合大学で5万2000人

の学生を抱える。政財官
のリーダーを輩出してお
り、授業以外にも現地の
学生と交流する機会を設
ける。敬愛大は「英語能
力の向上だけでなく、ケ
ローバルに活躍できる人

材の養成につながる」と
期待する。
ASJは2006年の
設立。フィリピン最大財
関、アヤラ・グループと
連携し、日本企業向けに
ソフトウェア開発やフィ

リピンでの現地法人設立
の支援などを手がける。
これまでもフィリピン大
と組み、国内のIT企業
社員をフィリピンで研修
する事業を実施してい
る。

お問合せ、申込先 e-mail: ryugaku@asj-inc.com

詳細内容はこちらから: <http://www.up-ryugaku.com>